

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月14日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社サハダイヤモンド

コード番号 9898 URL <http://www.sakha.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 姜 杰

問合せ先責任者 (役職名) 取締役IR戦略室室長兼管理部部長

(氏名) 井上 喜明

TEL 03-3846-2061

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	2,492	33.6	△467	—	△399	—	△404	—
24年3月期第3四半期	1,865	12.7	△385	—	△716	—	△716	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 △539百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 △706百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△1.21	—
24年3月期第3四半期	△2.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	4,229	3,581	76.5	9.71
24年3月期	4,682	4,121	79.8	11.21

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 3,234百万円 24年3月期 3,735百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,400	—	30	—	30	—	20	—	0.07

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) (株)バージンダイヤモンド・ジャパン
(注)詳細は、P.3「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 有
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、P.3「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	333,172,137 株	24年3月期	333,172,137 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	22,458 株	24年3月期	21,364 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	333,150,279 株	24年3月期3Q	272,408,514 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項等については、添付資料のP.2「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要が引き続き下支えしたものの、欧州の債務問題は依然として不確実性が高く先行き不透明な状況で推移いたしました。しかしながら、12月の政権交代を契機に円安基調への転換及び株価の回復傾向により不透明ながらも景気回復への期待は高まっております。

このような経済状況のもと、当社グループの属する宝飾業界においては、消費マインドの落ち込みに加え、価格競争も激化しております。

当社の海外子会社維真珠寶（上海）有限公司が運営する中国のジュエリー8店舗は、商品、店舗、接客サービスの全てを融合させブランド展開を行い、顧客の囲い込みを行っております。

また、当社子会社の株式会社バージンダイヤモンドが展開する事業では、テレビショッピングQVCの出演回数を増やし、楽天市場を中心としたインターネット販売に加え、企業収益が確保できる体制の構築を図るため、銀座本店を本社ショールーム1Fへ移転させました。

なお、当社の海外子会社公開型株式会社サハダイヤモンド（ロシア）においては、ダイヤモンドの原石及び原石加工販売を行っており、自社研磨生産の処理量が増加しております。

他方、当社子会社の株式会社サハダイヤモンド・トレーディングでは、ロシア産インゴット（金地金）及び中国産レアアース等の販売を中心に行っております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績については、売上高は2,492百万円（前年同期比33.6%増）、営業損失は467百万円（前年同期は営業損失385百万円）、為替差益63百万円の発生等により経常損失は399百万円（前年同期は経常損失716百万円）、四半期純損失404百万円（前年同期は四半期純損失716百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

(海外事業)

中国におけるダイヤモンドジュエリーの販売は、概ね予想どおりに推移したことから、売上高は409百万円、セグメント利益は2百万円となりました。なお、当事業は前年同期の記載はありません。

(ダイヤモンド事業)

日本のダイヤモンド事業では、テレビショッピングQVCの出演回数が増えたため好調に推移したものの、店舗販売の落ち込みから、売上高は277百万円（前年同期比30.8%減）、セグメント損失は25百万円（前年同期はセグメント損失67百万円）となりました。

(ダイヤモンド研磨事業)

海外子会社公開型株式会社サハダイヤモンド（ロシア）では、自社研磨ダイヤモンドの生産量が増加しており、売上高は1,664百万円（前年同期比55.5%増）、セグメント損失は60百万円（前年同期はセグメント損失48百万円）となりました。

(トレーディング事業)

トレーディング事業の売上高は155百万円（前年同期比60.7%減）、セグメント損失は247百万円（前年同期はセグメント損失3百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結累計期間末の総資産は4,229百万円となり、前連結会計年度末と比較して453百万円減少いたしました。資産、負債及び純資産の状況は次のとおりであります。

①資産

売掛金が527百万円増加したものの、現金及び預金が728百万円、たな卸資産が245百万円減少したこと等により453百万円の減少となりました。

②負債

未払金が63百万円減少したものの、買掛金が83百万円、前受金が80百万円増加したこと等により81百万円の増加となりました。

③純資産

四半期純損失が404百万円計上されたこと等により539百万円減少しております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社は、平成24年5月18日に公表いたしました平成25年3月期通期（連結）の業績予想に変更はありません。

なお、上記の予想は、当社が現時点で把握可能な情報から判断する一定の前提に基づいた見込みであり、多分に不確定な要素を含んでおり、当該予想が必要となる場合は速やかにお知らせいたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結会計期間より、当社の連結子会社である株式会社バージンダイヤモンドを存続会社、株式会社バージンダイヤモンド・ジャパンを消滅会社とする吸収合併方式により合併したため、連結の範囲から株式会社バージンダイヤモンド・ジャパンを除外しております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（連結子会社の事業年度等に関する事項の変更）

連結子会社のうち決算日が12月31日である公開型株式会社サハダイヤモンド（ロシア）については、同日現在の財務諸表を使用し連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っていましたが、連結財務情報のより適正な開示を図るために、第1四半期連結会計期間より、四半期連結決算日現在で仮決算を行い連結をする方法に変更しております。この仮決算の実施により、公開型株式会社サハダイヤモンド（ロシア）については平成24年1月1日から平成24年12月31日までの12ヶ月を連結しております。

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更による影響はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	994	265
受取手形及び売掛金	225	753
たな卸資産	1,288	1,042
その他	235	195
貸倒引当金	△4	△3
流動資産合計	2,739	2,254
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,519	1,524
減価償却累計額	△49	△56
建物及び構築物（純額）	1,469	1,467
土地	56	120
建設仮勘定	66	—
その他	39	127
減価償却累計額	△28	△55
その他（純額）	10	71
有形固定資産合計	1,603	1,659
無形固定資産		
その他	5	3
無形固定資産合計	5	3
投資その他の資産		
投資有価証券	3	0
営業保証金	321	303
その他	12	12
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	334	312
固定資産合計	1,942	1,975
資産合計	4,682	4,229

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28	112
短期借入金	161	152
未払法人税等	11	4
前受金	233	314
その他	124	58
流動負債合計	560	642
固定負債		
その他	0	6
固定負債合計	0	6
負債合計	561	648
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,893	3,893
資本剰余金	1,458	1,458
利益剰余金	△1,820	△2,224
自己株式	△2	△2
株主資本合計	3,529	3,124
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	—
為替換算調整勘定	206	109
その他の包括利益累計額合計	206	109
少数株主持分	385	346
純資産合計	4,121	3,581
負債純資産合計	4,682	4,229

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	1,865	2,492
売上原価	1,694	2,582
売上総利益又は売上総損失 (△)	170	△90
販売費及び一般管理費	555	377
営業損失 (△)	△385	△467
営業外収益		
為替差益	—	63
受取利息	0	0
受取賃貸料	2	7
その他	2	5
営業外収益合計	4	77
営業外費用		
支払利息	2	7
為替差損	317	—
株式交付費	12	—
その他	3	1
営業外費用合計	335	8
経常損失 (△)	△716	△399
特別利益		
資産除去債務戻入益	1	—
投資有価証券売却益	—	0
事業譲渡益	—	19
特別利益合計	1	19
特別損失		
投資有価証券評価損	4	3
固定資産除却損	—	0
店舗閉鎖損失	—	8
減損損失	16	—
特別損失合計	21	12
税金等調整前四半期純損失 (△)	△736	△393
法人税、住民税及び事業税	1	5
法人税等調整額	△22	—
法人税等合計	△20	5
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△716	△398
少数株主利益	—	5
四半期純損失 (△)	△716	△404

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△716	△398
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	△0
為替換算調整勘定	9	△141
その他の包括利益合計	9	△141
四半期包括利益	△706	△539
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△706	△564
少数株主に係る四半期包括利益	—	24

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

「II 当第3四半期連結累計期間 3. 報告セグメントの変更等に関する事項」に記載のとおりであります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

「ダイヤモンド事業」のセグメントにおいて、名古屋本店は収益性が低く当面の業績回復が難しいと判断したため、減損しております。

なお、当第3四半期連結累計期間における当該減損損失の計上額は16百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	海外事業	ダイヤモンド事業	ダイヤモンド研磨事業	トレーディング事業	
売上高					
外部顧客への売上高	409	277	1,650	155	2,492
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	14	—	14
計	409	277	1,664	155	2,506
セグメント利益又は損失 (△)	2	△25	△60	△247	△331

2. 報告セグメントの合計額と四半期連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△331
セグメント間取引消去	10
全社費用 (注)	△147
四半期連結損益計算書の営業損失	△467

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、当社グループの意思決定プロセスを見直し、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための区分の変更に伴い、報告セグメントの区分を変更しております。

中国で展開するジュエリー販売については、「海外事業」とし、日本における「ブライダルジュエリー事業」及び「インターネット事業」を統合して「ダイヤモンド事業」と名称を変更し報告セグメントとしております。

なお、当該組織変更を反映した前第3四半期連結累計期間の報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報は、以下のとおりです。

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	海外事業	ダイヤモンド事業	ダイヤモンド研磨事業	トレーディング事業(注)	
売上高					
外部顧客への売上高	—	400	1,069	394	1,865
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	0	—	0
計	—	400	1,070	394	1,865
セグメント損失(△)	—	△67	△48	△3	△119

(注) トレーディング事業(ロシア産インゴット(金地金)の輸入販売及び資源に関する品目の取り扱い)は、新たに開始した事業であり、報告セグメントの内容を変更するものではありません。

報告セグメントの合計額と四半期連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△119
セグメント間取引消去	33
全社費用(注)	△298
四半期連結損益計算書の営業損失	△385

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。